



2019年10月7日

各位

会社名 株式会社ビックカメラ  
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
 (コード番号: 3048 東証一部)  
 問合せ先 取締役経営企画本部長 安部 徹  
 TEL 03-3987-8785

## 業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月11日に公表した2019年8月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

2019年8月期通期 連結業績予想数値の修正 (2018年9月1日～2019年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 895,000	百万円 28,800	百万円 30,600	百万円 17,800	円 銭 99.76
今回修正予想(B)	894,000	22,900	25,800	14,000	78.82
増減額(B-A)	△1,000	△5,900	△4,800	△3,800	
増減率(%)	△0.1	△20.5	△15.7	△21.3	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	844,029	27,055	29,241	17,122	93.65

## 2. 修正の理由

通期業績は、連結業績への影響が大きい個別に加え、日本BS放送株式会社の業績伸び悩みを理由に、いずれの数値も公表予想を下回りました。

個別業績につきましては、想定に対しパソコンの販売が好調であったものの、長梅雨により季節商品の販売が伸び悩んだほか、インバウンドや消費増税に伴う駆け込みが想定を下回ったことから、売上高は予想を下回りました。利益面では、売上高要因に加え、パソコンや理美容商品など一部の商品カテゴリーで売上総利益率が低下したことにより、売上総利益額が想定を下回りました。また、新規出店の前倒し、物流費用の増加などにより販管費が想定を上回ったことから、各利益は予想を下回りました。

このほか連結業績に、当社グループが保有する建物等の固定資産の一部について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、特別損失として減損損失2,940百万円を計上しております。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上